

ADSL とパソコンの接続(企業向け)

機器の準備

有線 ADSL でインターネットに接続するには、以下(1～4)の機器が必要です。

ADSL 宅内工事(ADSL まで)費用として 10,000 円必要です。

LAN 工事(ADSL からパソコン)に関しては別途工事費用が必要です。

1. パソコン



インターネットを閲覧するための端末です。
デスクトップ型、ノート型どちらでも使えますが、搭載されている OS が TCP / IP 通信に対応しており、なおかつインターネット閲覧ソフトがインストールされている必要があります。代表的な OS に Windows 9 8 や MacOS, Linux があります。

2. LAN カード



パソコン同士をつなぐためにパソコン本体に装着する部品です。
TCP / IP という通信規格でインターネット上のコンピュータと通信します。

パソコンとの接続方法により、複数のタイプが存在します。

一般に、デスクトップ型パソコンの場合は内部の PCI スロットに組み込む PCI カード型、ノート型パソコンの場合は PCMCIA スロットに挿入する PC カード型を使います。

機種によっては最初から内蔵している場合もありますが、多くの場合、別途購入が必要です。

また、USB ポートを備えるパソコンであれば、USB 接続タイプの装置も選択できます。

規格は 10BASE-T 又は 100BASE-TX であれば対応できます。

3. LAN ケーブル (ストレートタイプ)



機器を相互につなぐケーブルです。ストレートケーブルを選択します。

4. シェアリングボックス、ハブ (パソコンを複数台接続する場合)



LAN コネクタを 2 つ備えており、ADSL ネットワークとローカルエリアネットワークを橋渡しする役割を持っています。

LAN ケーブルを接続するコネクタを複数備えています。ローカルエリアネットワークを構成するパソコンを接続します。

5. ADSL モデム



パソコンとプロバイダ間を、有線を使って高速通信するための装置です。

パソコン側の LAN カードに LAN ケーブルで接続します。

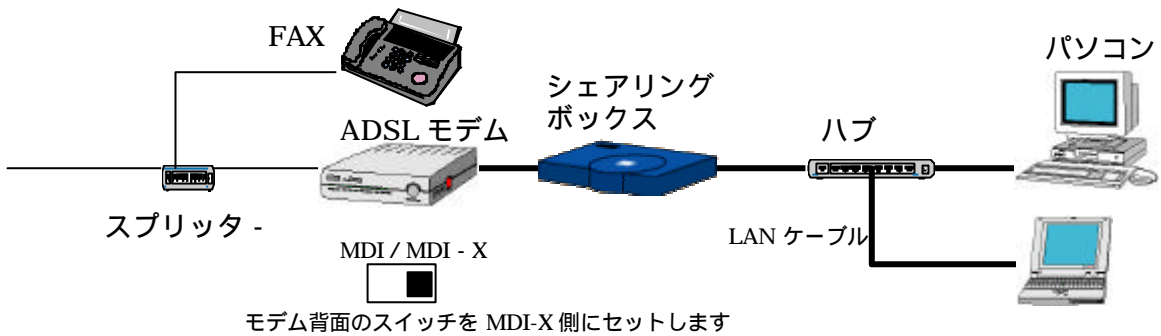
情報いずもで用意したモデムを買い取っていただく形になりますので、お客様で用意していただく必要はありません。

機器の接続

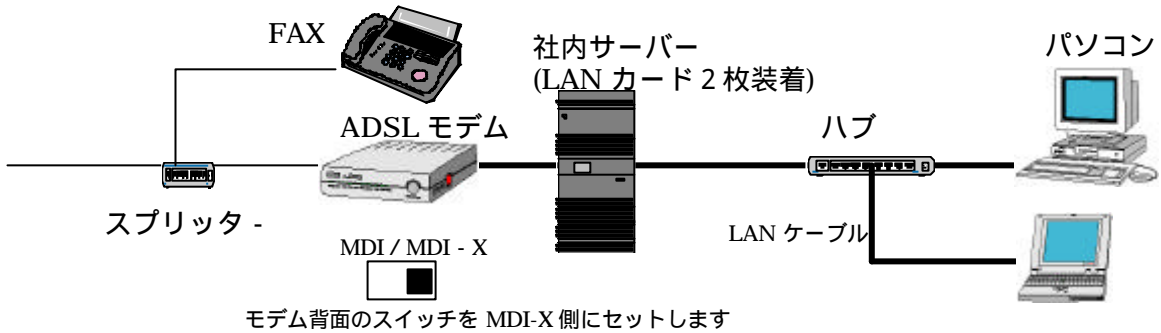
宅内に引き込んだ有線回線はまず、スプリッタ - という装置(ADSL モデムに付属)に接続します。ここでインターネット通信の信号と通常の音声信号を分離し、FAX・スピーカへのケーブルと ADSL モデムへのデータ通信ケーブルが分岐します。

ADSL モデムからは LAN ケーブルを使ってシェアリングボックス又は LAN カードを 2 枚装着したサーバーを介し、ローカルエリアネットワークに接続します。

[社内 LAN と ADSL ネットワークの接続]



[社内サーバーを介して接続]



ADSL のケーブル接続図

